

メーリングリストサーバの課題

情報システム工学実験第3K

課題の内容

- メーリングリスト管理

メーリングリストの管理とは

- インストールと設定
sendmail のアップデート, fml のアップグレードなど
- メンバー管理
メンバーの登録, 削除など
- エラーメールの処理
- トラブルへの対応
- ログの査読
エラーの有無, セキュリティ面の問題などをチェック
- コミュニケーションレベルの管理
ML 参加者からの問い合わせへの解答など

管理ポリシー

- メーリングリストの管理体制
- 管理者, 登録方法, メール容量の上限設定, など
- 明確な管理ポリシーを設定して運用

今回の作業

- ML へのユーザの自動登録
- ヘッダの設定
- メール容量の上限設定

ユーザの自動登録

- 管理者が行っていた登録作業を, ユーザ側で行えるようにする
管理者の負担を軽減
- fml では自動登録の機能をサポート

ユーザの自動登録 (作業1)

一般ユーザ fml (ML管理者)でログイン

```
$ makefml config groupX (ML名)
```

?

1: POLICY OF ACCESS を選択

?

2: WHEN_POST_FROM_NOT_MEMBERを選択

?

2: auto_subscribe (自動登録)を選択

Dept. of Information Systems Eng.

ユーザの自動登録 (作業2)

最初の 0? 7の選択モードに戻って

2 REGISTRATION METHOD TYPEを選択

?

1? 3を各班のポリシーに従って設定

Dept. of Information Systems Eng.

自動登録のタイプ

AUTO_REGISTRATION_TYPE

- confirmation 確認メールを要求
- body 本文がsubscribeの場合に登録
- subject Subjectがsubscribeの場合に登録
- no-keyword 無条件に登録

Dept. of Information Systems Eng.

ヘッダの設定

- ヘッダの設定を変更することが可能
- 今回は Subject にタグを付加

例) Subject: Hello

?

Subject: [gX-ml 0001] Hello

Dept. of Information Systems Eng.

ヘッダの設定 (作業)

```
$ makefml config groupX (ML名)
```

?

5: HEADER CONFIGURATIONSを選択

?

1: SUBJECT_TUB_TYPE を設定

?

2: SUBJECT_TUB_FIGURE を設定

Dept. of Information Systems Eng.

メールサイズの制限

- サイズの大きすぎるメールが送られると、サーバがダウンすることもある
- メールサイズの最大値を設定しておく

Dept. of Information Systems Eng.

メールサイズの制限 (作業1)

/var/spool/ml/groupX/config.phを
makefmlを使って編集する

\$ makefml edit groupX (ML名)

#YOU CAN EDIT MANUALLY AFTER HERE.

1;

これを

Dept. of Information Systems Eng.

メールサイズの制限 (作業2)

#YOU CAN EDIT MANUALLY AFTER HERE.

\$ INCOMING_MAIL_SIZE_LIMIT = "1K"; (サイズ設定)

\$ NOTIFY_MAIL_SIZE_OVERFLOW = 1; (通知)

1;

と変更

メールサイズの設定は各班のポリシーに合わせる

Dept. of Information Systems Eng.

動作確認

- 「ユーザの自動登録」と「ヘッダの設定」の動作確認を行う
- メール容量の上限を超えるメールを送信して、動作確認を行う

Dept. of Information Systems Eng.

参考文献

- 深町 賢一 著, 『fmlバイブル』, O'REILLY (2001)
- 梅垣まさひろ, 寺村 綾子 著, 『fmlメーリングリスト管理』, オーム社 (2000)

Dept. of Information Systems Eng.